

# 県議会 おおいこ

題字は、大分県立竹田高等学校3年  
油布 春華さんの作品です。

No. 97  
大分県議会

平成27年2月発行



12月16日 目田市立石井小学校



11月17日 目出町立大神中学校



12月19日 大分市立賀来小中学校

## 議員出前講座を開催しました。

議員が講師となり、県内の小中高等学校、大学等を訪問し、県議会の仕組みや役割、議員の活動などについてわかりやすく説明し、意見交換することによって、議会に対する関心や県政に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

目次	▶平成26年 第4回定例会…………… 1
	▶委員会の活動状況…………… 4
	▶トピックス・県議会今後の動き…… 6

## 平成26年 第4回定例会

11月26日から12月12日までの会期17日間で開催しました。

開会后、近藤議長による諸般の報告に続き、産業廃棄物税を継続するための大分県産業廃棄物税条例の一部改正案や、大分県立美術館の設置に伴い大分県立芸術会館を廃止するための大分県立芸術会館の設置及び管理に関する条例の廃止案など、議案19件と報告3件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

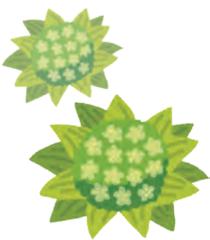
12月3日から3日間にわたり行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、まち・ひと・しごと創生総合戦略や振興局のあり方などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、3日には、継続審査となっていた決算議案15件について採決を行い、全て可決・認定しました。

各常任委員会は、8日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

最終日には、知事提出議案24件を可決・承認・同意し、議員提出議案8件を可決、委員会提出議案1件を可決、請願1件を採択、1件を趣旨採択、2件を継続審査とし、閉会しました。

会期中には、延べ175人の方々が、本会議や委員会を傍聴されました。



一般質問

12月3日(水)



自由民主党大分県議員団  
末宗 秀雄 議員

▼人口減少社会  
▼東九州自動車道

ほか



公明党  
河野 成司 議員

▼地方創生による大分県の活性化  
▼がん対策

ほか



県民クラブ  
小嶋 秀行 議員

▼防災・減災対策のための仕組みづくり  
▼健康増進対策

ほか



自由民主党大分県議員団  
古手川 正治 議員

▼地方創生  
▼防災・減災対策

ほか

12月4日(木)



県民クラブ  
守永 信幸 議員

▼県庁組織のあり方  
▼平和教育

ほか



自由民主党大分県議員団  
後藤 政義 議員

▼中山間地域を取り巻く諸課題  
▼中九州横断道路

ほか



自由民主党  
元吉 俊博 議員

▼道徳教育  
▼県北地域からの大分空港へのアクセス

ほか



県民クラブ  
平岩 純子 議員

▼政治のリーダーシップ  
▼教育

ほか

12月5日(金)



自由民主党大分県議員団  
田中 利明 議員

▼地方創生と県政の推進  
▼水産振興

ほか



日本共産党  
堤 栄三 議員

▼消費税増税問題  
▼住宅リフォーム支援事業

ほか



自由民主党大分県議員団  
御手洗 吉生 議員

▼県政  
▼持続的な林業振興

ほか



県民クラブ  
玉田 輝義 議員

▼小規模集落を支える仕組みづくり  
▼中小企業の振興

ほか

まち・ひと・しごと創生総合戦略

**問** 総合戦略の策定に当たって、県内各地域の特性を踏まえながら、どのように取り組んでいくのか、知事の考えを伺う。

**答** 国は、人口減少社会への対応として地方創生に取り組みることとし、今回「まち・ひと・しごと創生法」が成立した。

国の方向性は、本県が取り組んできた「安心・活力・発展の大分県づくり」と軌を一にするものであり、これまでの政策に新しい政策をさらに積み重ねていくことで、大分県の地方創生を実現していかなければならないと考えている。

まち・ひと・しごと創生の総合戦略を考える上で最も大事なことは、県内に仕事をつくり、人を呼び、人が仕事を呼び込むという「人と仕事の好循環」を創出することである。

また、地方創生に当たっては、産業構造の違いなど、地域の特性を活かしながら進めていくことも大事である。大分県の「まち・ひと・しごと創生」を、市町村の特徴を活かしながら一体的に強力に推進するため、これまでの小規模集落対策本部を拡充・発展させ、「大分県まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げることとした。

「日本の創生は大分県から」という気概を持って、県民の皆さん

とともに、大分県の地方創生を実現していく。

振興局のあり方

**問** 今後の振興局の機能強化について、県の方針を伺う。

**答** 県民中心の県政を実現するためには、現場主義の徹底が何よりも重要である。中でも振興局には、県政の最前線に立って、県民の求めるニーズや課題を掘り起こし、現場に即した解決策の実行に努めるよう求めてきた。今後、地方創生に取り組み上で、その役割は益々重要となる。

振興局は、地方創生の柱である地域の雇用場のづくりや安心安全な暮らしを支える新たな地域づくりを現場で担っている。昨年度からは、現場の声を施策に一層反映できるように、県の予算に地域課題対応枠を設定した。各振興局では、この仕組みを活用して、地域資源を活かした観光振興や産業の担い手確保対策など、新たな取組を行っている。

振興局の各部門には、住民、生産者、事業者、市町村に身近な存在として、その機能を発揮するよう期待しており、その期待に応えて十分に仕事ができるか常に検証していかねばならないと考えている。また、定例部長会議にも振興局長が出席し本庁からの

方針を伝えるだけでなく、振興局長が地域の声を届け、連携が十分に図られるようにしている。  
振興局が現場主義を第一とし、本来の機能を十分に発揮できるように、改めて徹底していく。

**世界農業遺産の次世代への継承**

**問**

世界農業遺産の次世代への継承について、今後、県としてどのような取組を行っていくのか。

**答**

世界農業遺産の認定以来、県と地元市町村、関係団体等が一体となって、地域の伝統的な農法や文化などの営みを次の世代に引き継ぎ、地域を元気にするため「保全推進」「情報発信」「活力創造」の3つの柱で事業を進めている。

保全推進では、認定の意義について理解を深めようするため、住民や生産者向けのシンポジウムやワークショップを開催している。情報発信では、写真コンテストの開催や、坐来大分でガザミなどの食材を使った世界農業遺産メニューフェア等を実施している。活力創造では、世界農業遺産認証品として、地域の特産物のブランド化に取り組んでいる。

平成26年9月には県内金融機関の協力を得て、果実運用型ファンドを設立し、地域の伝統行事を守

り育てる事業等を、継続して支援できる体制も整えた。今後とも、世界農業遺産を通じて地域の活性化が図られるようしっかりと取組を進めていく。

**女性の自立**

**問**

女性が社会で自分の持てる力を発揮し、自立していくためには、どのような環境整備が必要だと考えているか。

**答**

男女が性別にかかわらずなく、その個性と能力を十分に発揮し、活躍することが心豊かで活力ある大分県づくりに欠かせないと考え、「第3次おおいた男女共同参画プラン」に基づいて、男女共同参画社会の実現を目指しているところである。

女性の自立を促進するためには、経済的基盤の充実が必要であり、女性の就労を支える環境づくりを推進していく。

まずは女性の能力が適正に評価され、活躍の場を拡大していくことが重要である。さらに女性の就業継続に向けた支援、女性が安心して働くための環境整備、再就職に向けた支援にも取り組んでいく。

このような環境整備に加え、固定的な性別役割分担意識の解消も重要であり、意識改革の普及・啓発に引き続き取り組んでいく。また、女性に対する暴力の予防

と根絶のための基盤づくり、DVや性犯罪等への対策をしっかりと推進する。  
今後とも、女性の自立促進のため、男女共同参画社会の実現に努力していく。

**可決された議案(議員提出)**

●**条例(1件)**

▽大分県議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について

●**意見書(7件)**

▽軽油引取税の課税免除措置の恒久化及び燃油価格高騰対策の強化を求める意見書

▽公立小学校第一学年に係る四十年学級検討に反対する意見書

▽山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書

▽地域の中小企業振興策を求める意見書

▽米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書

▽CLTの普及促進による林業・木材産業の活性化を求める意見書

▽「女性が輝く社会」の実現に関する意見書

**可決された議案(委員会提出)**

●**意見書(1件)**

▽「農業・農協改革」に関する意見書

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

**採択された請願(1件)**

▽農業・農協改革に関する意見書の提出について

**趣旨採択された請願(1件)**

▽トラック運送事業者の経営の健全化に関する意見書の提出について

**可決承認等された議案等(知事提出)**

●**予算関係(1件)**

▽平成26年度大分県電気事業会計補正予算(第2号)について

●**条例関係(11件)**

▽大分県産業廃棄物税条例の一部改正について

●**人事関係(2件)**

▽公安委員会委員の任命について

●**決算関係(15件)**

▽平成25年度大分県病院事業会計決算の認定について

●**その他(7件)**

▽当せん金付証券の発売について

●**報告(3件)**

▽平成26年度大分県一般会計補正予算(第3号)について



委員会の活動状況

常任委員会

総務企画委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・職員の給与に関する条例等の一部改正について  
 ・大分県産業廃棄物税条例の一部改正について ほか



福祉保健生活環境委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・大分県病院事業に係る料金条例の一部改正について  
 ・大分県民生委員の定数を定める条例の制定について ほか  
 1月28日 ・障がい者への差別の解消に向けた条例制定等について ほか

商工労働企業委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・平成26年度大分県電気事業会計補正予算(第2号)について  
 ・四国電力伊方原子力発電所再稼働に反対する意見書の提出について ほか

農林水産委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・農業・農協改革に関する意見書の提出について  
 ・大分県の事務処理の特例に関する条例の一部改正について ほか

土木建築委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・工事請負契約の締結について  
 ・大分川ダムの建設に関する基本計画の変更に係る意見について ほか

文教警察委員会

●委員会開催状況

- 12月 8日 ・大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について  
 ・大分県立芸術会館の設置及び管理に関する条例の廃止について ほか

特別委員会

危機管理対策特別委員会

●委員会開催状況

- 12月12日 ・報告書(骨子)について

産業・雇用対策特別委員会

●委員会開催状況

- 12月12日 ・報告書(骨子)について

広域行政・行財政改革特別委員会

●委員会開催状況

- 12月12日 ・報告書(骨子)について

人と自然の環境・資源対策特別委員会

●委員会開催状況

- 12月12日 ・報告書(骨子)について

●県外調査

- 11月11日～13日  
 ・新潟県議会(新潟県新潟市) 医療人材の確保  
 ・佐渡市議会(新潟県佐渡市) 世界農業遺産  
 ・新潟市食育・花育センター(新潟県新潟市)  
 農業体験観光ツアー、教育ファーム ほか



【佐渡市議会】



【新潟市食育・花育センター】



## 政策検討協議会

県議会では、「政策検討協議会」を設置して政策立案機能の強化に取り組んでおり、現在、「大分県観光振興条例（仮称）」の制定に向けて検討を行っています。

観光は、観光業をはじめ、商工業、農林水産業など関連する多くの産業分野に波及効果をもたらし、また交流人口の増加等によって新たな産業や雇用の創出にもつながることから、活力ある地域づくりに寄与することが期待されています。

そこで、本県の観光振興について、観光振興に関する各種施策のさらなる推進を図るため、「大分県観光振興条例（仮称）」を制定し、県を挙げて観光振興に取り組んでいきたいと考えています。

### 今年度の主な取組状況

- 県内の現状調査（5月～8月）
- 関係者からの意見聴取（9月）  
「大分県観光振興条例（仮称）」骨子案等について、観光事業者、観光関係団体及び執行部から意見聴取を実施。
- 県外調査（11月）  
愛知県議会（愛知県名古屋市長市）観光振興条例について
- 県民意見募集（11月）  
「大分県観光振興条例（仮称）案」に対する県民意見募集（パブリックコメント）を11月25日から1ヶ月間実施。  
※意見募集は終了しました。



【意見聴取の様子】

## 平成26年 大分県議会10大ニュース（項目は時系列になっています）

- ①スリランカへ野球道具を寄贈（1月21日）
- ②第94代副議長に桜木博議員が就任（3月27日）
- ③「大分県議会議員の定数等に関する条例」を一部改正し、議員定数を44人から43人に1人減員（3月27日）
- ④近藤議長が全国都道府県議会議長会の農林水産環境委員会副委員長に就任し、食料・農業・農村政策の推進等について国等に対して要請活動を実施（7月30日就任。7月31日、11月5日要請活動）
- ⑤県議会議長と市町村議会議長との意見交換会を実施（8月27日）
- ⑥甚大な土砂災害被害を受けた広島県議会に災害見舞金を贈呈（9月16日）
- ⑦大分県でのラグビーワールドカップ2019開催を後押しするため、全会一致で決議を可決（9月18日）
- ⑧議会運営改革の取組を決定（10月29日）  
• 議案等に係る賛否及び出欠の公表 • 第3回定例会での代表質問の実施 • 常任委員会開催時間の調整 等
- ⑨九州各県議会議長会が九州における新幹線網の整備促進等について国等に対して提言・要望活動を実施（11月10日～11日）
- ⑩開かれた県議会への取組  
• 出前県議会（9月26日 豊肥地域） • 議員出前講座（1月～12月 12校）  
• 委員会会議記録の公開（平成26年第1回定例会分から）



## 県議会をご覧になりませんか？

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>① 本会議場や委員会室で見る。<br/>本会議と委員会は傍聴することができます。<br/>会議当日、議会棟1階傍聴受付にて先着順で傍聴券を交付します。</p> | <p>② インターネットで見える。<br/>県議会ホームページでは、一般質問など本会議等の模様について生中継を行っています。<br/>また、過去の本会議等についても中継録画を配信しています。</p> | <p>③ ケーブルテレビで見える。<br/>次のケーブルテレビで、中継を行っています。<br/>• 大分ケーブルテレコム<br/>• 大分ケーブルネットワーク<br/>• CTBメディア<br/>• KCVコミュニケーションズ</p> |
|--|---|---|

トピックス

◎第84回 県議会56分勉強会

定例会会期中の12月4日、立命館アジア太平洋大学（APU）学長の是永駿氏を講師にお招きし、「近未来のグローバル・スタンダード」と題して、日英二言語教育などこれまでの大学の取組をはじめ、APUが大分県にもたらす経済・社会的波及効果や今後のグローバル人材の育成などについてご講話いただきました。



◎「飲んだらのれん」

交通安全街頭啓発活動

11月18日、トキハ本店前で平成19年に議員提案により制定された「大分県飲酒運転根絶に関する条例」（通称「飲んだらのれん条例」）の普及を目的に飲酒運転根絶に向けた街頭啓発を行いました。



◎地震体験車「ユレルンダー」体験研修会

1月28日、地域防災力向上への取組の一環として、県議会玄関前で地震体験車「ユレルンダー」の体験研修会を行いました。東日本大震災や想定される南海トラフ地震等の揺れを実際に体験することにより、防災・減災対策への取組の重要性を再確認しました。



◎議会ロビーへの作品展示

11月25日～12月12日、九州7県で取り組んでいる九州まちの修理屋さん事業で募集した「修理して大切にしているもの」のフォトエッセイコンテストの受賞作品15点を展示しました。



県議会 今後の動き

平成27年第1回定例会の日程(予定)

- 2月26日(木) 開会
- 3月3日(火) 本会議
- 5日(木) 本会議・常任委員会
- 6日(金) 本会議
- 9日(月)～11日(水) 本会議(一般質問)
- 12日(木)～13日(金) 常任委員会
- 17日(火) 閉会

テレビ広報番組のお知らせ

「県議会タイム」

OAB大分朝日放送

平成27年3月21日(土)  
午後3時35分から

第1回定例会の概要や、過去4年間の議会活動の総括などを放送します。ぜひご覧ください。

広報誌「県議会おおいた」

は、大分県情報センター、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店に配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで

県議会ホームページでは・・・

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは  
県議会事務局  
各課まで

【総務課】 議会庶務、情報公開など  
【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など  
【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など

TEL 097-506-5019  
TEL 097-506-5022  
TEL 097-506-5035